



**丸岡 弘満 議員**  
(改革未来・自民の風)  
・加西市民の会

## 市政を動かす声、物価高騰対策を提言



**問** 物価高騰で、あらゆるものの値段が上がり、賃金や給料も増えない中、税は変わらず取られている現状に、多くの市民が困り苦しんでいる。市民の暮らしを守る我々の会派から、市民の皆さんの声を代弁し、水道料金の減免など物価高騰対策を4月に市長へ提言・要望した。困っている市民生活に対して、どのような市独自対策を取ろうとしているのか。

**答** 物価高騰対策として、上水道の基本料金を6か月間減免するための補正予算案を6月議会に上程しているところです。そ

の他の支援については、今後の物価の状況や国の動向を注視しながら検討していきます。

**問** ねっぴ〜 Pay によるポイント還元は、物価高騰対策として非常に有効で、経済効果としても1番よいのではないかと。市内商店の消費拡大に寄与するキャッシュレス決済での対策をお願いしたいが、ねっぴ〜 Pay の現状は。

**答** ユーザー数は約1万6,800人となり、毎年2,000人ずつ増えています。また、取扱店も290店舗まで増えています。消費額も少しずつ増え、令和6年度は5億1,000万円です。効果額は令和4年度2億7,000万円、5年度2億円、6年度2億8,000万円となり、利用促進効果が大きくなってきています。

**問** 一般照明用の蛍光灯の製造、輸出入を2027年までに段

階的に廃止することが決定した。製品の継続使用や廃止日までに製造された製品の売買・使用が禁止されるものではないが、自治会集会所など、いまだLED化されていない施設に対する市の対応は。

**答** 自治会公民館の改修については、集会所設置事業補助金がありますが、大規模改修を想定したものとなっています。今後、照明のLED化改修補助に向け、前向きに進めたいと考えます。

### ■その他の質問事項

- ・加西の教育3本の矢について
  - 学校給食
  - 体育館の空調設備
  - 部活動の地域移行
  - 部活動中の事故
  - 教育委員会制度
- ・加西市農業の未来について
  - 令和の米騒動



**高橋 佐代子 議員**  
(改革未来・自民の風)  
・加西市民の会

## 加西市グローバルセンターの運営について



**問** 市内の外国人の数は、令和元年度末に1,340人、6年度末が1,675人で335人増となり、人口に対する外国人の割合は4.06%になる。グローバルセンターの運営については、外国人を雇用している市内企業にも協賛金などを求めて連携することにより、ネットワークの構築ができるのではないかと。

**答** 外国人を雇用している市内の約140社については、国際交流協会の会員になっていただき、相互扶助による多文化共生の推進に協力していただくことを期

待しています。行政が負担するだけでなく、企業と連携して運営に努めます。

**問** センターの職員を新規雇用されると聞かれますが、どのような方なのか。

**答** 人物の能力や経験等を基に選考されると聞いています。特にセンター長は企業連携、つなぎ役としての経験がある人材が採用されると考えています。

**問** 国際交流協会（職員5名）への指定管理料は、令和7年10月1日からの4年半で7,200万円、7年度は半年間で800万円、年間1,600万円と高額で驚いている。センター長の給与は幾らか。

**答** 指定管理料はほぼ人件費ですが、センター長1人に500万円、一般職員は200万円から300万円を見込んでいます。

**問** センター長と事務局長を正職員とすれば、あと3人はアルバイトや会計年度任用職員となるのか。

**答** 現在は正規雇用の職員が勤めており、継続して雇用されます。増員される職員のうち、センター長は正規雇用、一般職は短時間勤務もしくは臨時雇用も含めて考えているところです。

**要望** センター業務は毎日忙しいわけではなく、空き時間もあると思います。市民の目もあります。市役所並みの給与を支払うと言われますが、ずっと続けていく事業ですので、市としても任せきりにせず、様子を見ながら、常に目を光らせていただくようお願いしたい。